

科目名 (科目番号)	病態解析演習 I (102102)	教員名	臨床検査 学科教員	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	学内実習で習得した数値、画像、形態などより、検査結果と病態との関係を明確にする。また、異常検査結果、偽陽性、偽陰性の発生する要因となる因子を解析し、より正確な検査結果が得られるための必要条件などについて検証させる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	血液検査等のデータをもとに症例検討-1(吉田)	到達目標:血液疾患について血液検査データから病態解析へのアプローチを学修する。 学習内容:血液疾患の症例について、血液検査データを提示し、グループワークにて病名を推測し、解析経過・結果・考察を発表する。					
	2	血液検査等のデータをもとに症例検討-2(吉田)	到達目標:血液疾患について血液検査データから病態解析へのアプローチを学修する。 学習内容:血液疾患の症例について、血液検査データを提示し、グループワークにて病名を推測し、解析経過・結果・考察を発表する。					
	3	尿定性検査データと尿沈渣所見からの症例検討(稲田)	到達目標:尿試験紙法と尿沈渣鏡検結果の突合せから、測定結果の妥当性を評価し、偽陽性や偽陰性の可能性を見出すことができる。 学習内容:尿一般検査データが示す各種病態について学ぶ。					
	4	電気泳動像からの症例検討(稲田)	到達目標:泳動像から考えられる病態や疾患を判読できる。 学習内容:蛋白分画、酵素アインザイム、リポ蛋白分画の泳動像を復習する。					
	5	免疫検査等のデータをもとにした症例の検討-1(藤田)	到達目標:免疫疾患症例を免疫および各種臨床検査から病態を解析出来るようになる。 学習内容:免疫異常が主原因である症例を、免疫および各種臨床検査結果から病態解析する方法を学修する。グループごとに症例を解析させる予定である。					
	6	免疫検査等のデータをもとにした症例の検討-2(藤田)	到達目標:各種症例を免疫および各種臨床検査から病態を解析出来るようになる。 学習内容:免疫関連症例を、免疫および各種臨床検査結果から病態解析する方法を学修する。グループごとに症例を解析させる予定である。					
	7	病理検査等のデータをもとにした症例の検討-1(當銘)	到達目標:各種症例を病理検査結果からアプローチする病態解析法を身につける。 学習内容:各種症例を病理検査結果からアプローチする病態解析法を学習する。					
	8	病理検査等のデータをもとにした症例の検討-2(當銘)	到達目標:各種症例を病理検査結果からアプローチする病態解析法を身につける。 学習内容:各種症例を病理検査結果からアプローチする病態解析法を学習する。					
	9	検体のグラム染色からみた症例の解釈-1(鴻巣)	到達目標:各症例検体のグラム染色の特徴について理解する。 学習内容:呼吸器系疾患の症例について学習する。					
	10	検体のグラム染色からみた症例の解釈-2(鴻巣)	到達目標:各症例検体のグラム染色の特徴について理解する。 学習内容:髄膜炎の症例について学習する。					
	11	臨床化学検査等のデータをもとにした症例検討-1(難波)	到達目標:当該症例の検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する習慣を身につける。 学習内容:Reversed Clinicopathological Conference(R-CPC)形式の授業により、提示された循環器疾患の症例について、その検査結果のみで病態把握や臓器障害の有無を検討する方法を学ぶ。					
	12	臨床化学検査等のデータをもとにした症例検討-2(難波)	到達目標:当該症例の検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する習慣を身につける。 学習内容:内分泌疾患の症例を提示して、R-CPCにより検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する方法を学ぶ。					
	13	生理機能検査等のデータをもとにした症例検討-1(河西)	到達目標:検査結果と病態との関連を解析・考察し、症例の病態生理を理解する。 学習内容:生理機能検査結果から症例の病態生理について学習する。					
	14	生理機能検査等のデータをもとにした症例検討-2(月本)	到達目標:検査結果と病態との関連を解析・考察し、症例の病態生理を理解する。 学習内容:生理機能検査結果から症例の病態生理について学習する。					
15	遺伝子検査の解釈と症例検討(伊藤)	到達目標:遺伝子検査を行う背景と疾患における特定の遺伝子の働きを理解し、データの結果の解釈・考察をすることができる。 学習内容:遺伝子検査の症例について学修する。						
成績評価の方法・基準	レポート(100%)							
教科書								
参考図書	適宜配布							
教員からのメッセージ	各授業でレポートの提出を課します。レポートは授業後にコメントを付けて返却します。昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。							